2 潜入！フナイリバの秘密

船入場調節池は、目黒川の特徴である短時間の急激な水位上昇による洪水を防止するため、目黒川中・下流部の治水対策として都内で最初に整備された地下箱式の調節池です。
目黒川の上流部は、昭和56年の水害により「河川激甚災害対策特別緊急事業」に採択され、昭和60年度に護岸整備が完了しましたが、住宅が密集している下流部では整備に時間を要していました。このため、昔の船入場跡地を利用した「船入場調節池」の整備に着手し、6年の歳月を要して、平成2年度に完成しました。調節池の上部は、水辺に近い貴重なオープンスペースとして親しまれています。

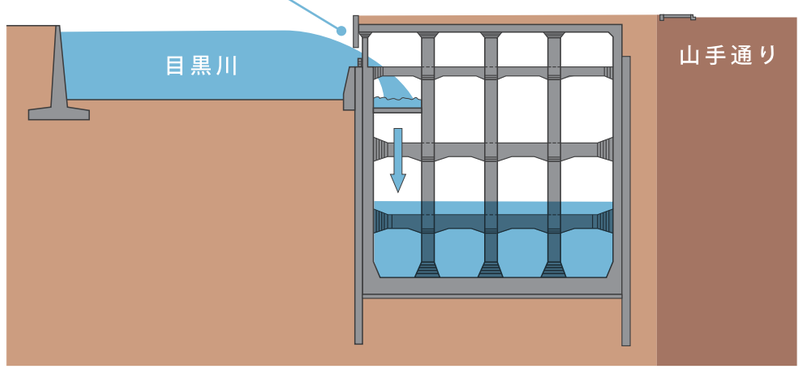

目黒川の普段の水位


日替わりでキッチンカーも来ます


船入場から見た「越流堰（せき）」

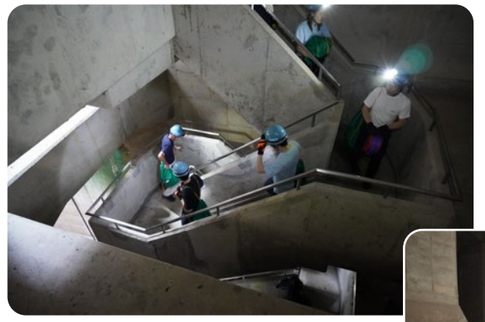
■場所	目黒区中目黒一丁目
■完成年度	平成2年度
■施設形式	地下箱式
■敷地面積	2,900㎡
■貯留量	55,000㎥

25mプール約180杯分!



普段は入ることのできない船入場調節池の内部を特別公開!



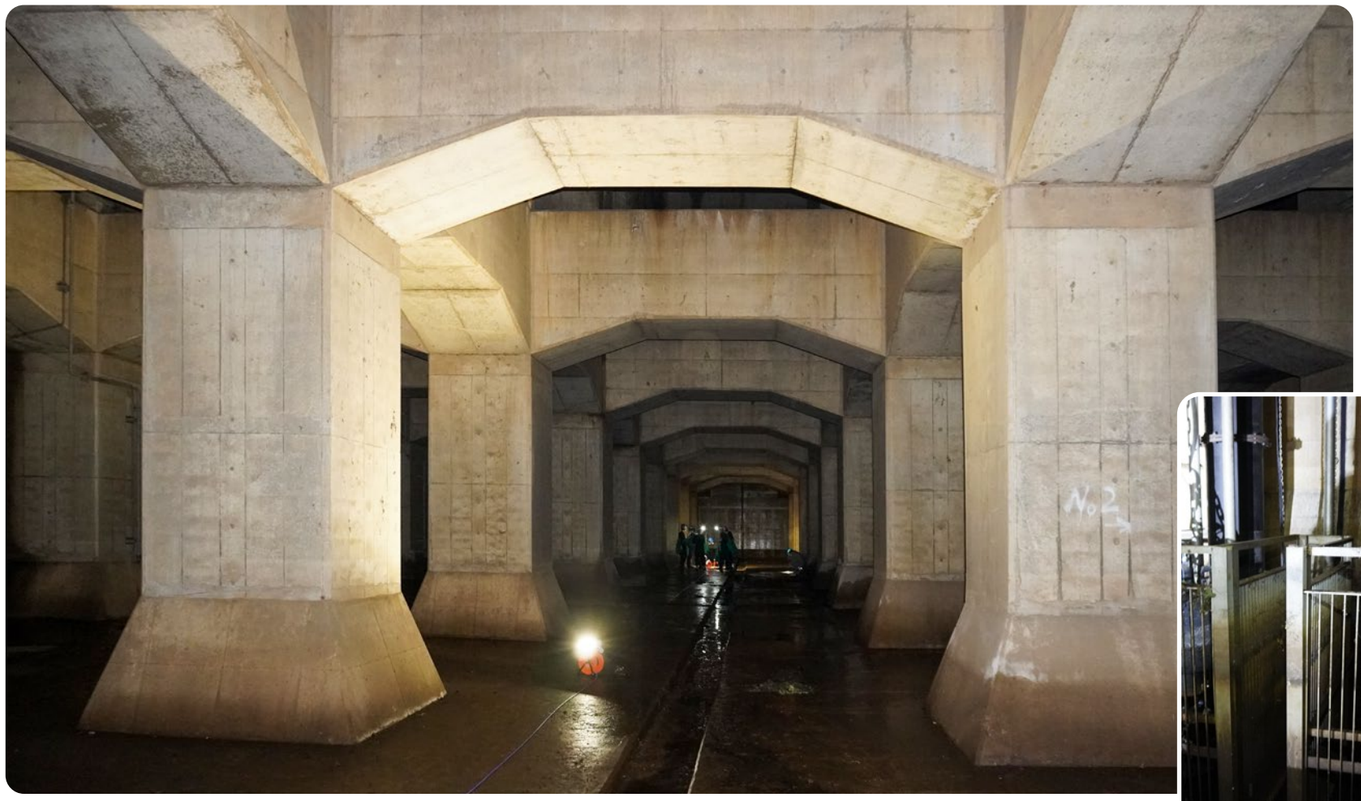


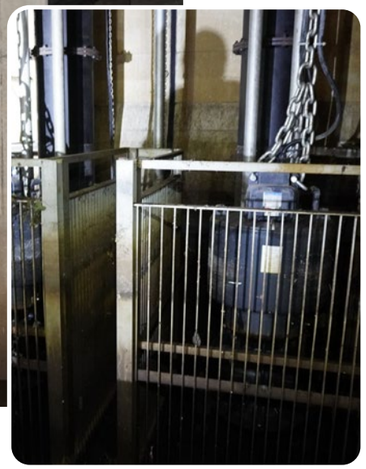
地上から調節池底部まで約28m。エレベーターが無いため、およそ8階の建物に相当する高さを階段で下りていきます。

目黒川から調節池内に流入してきた水は大きなスロープを利用して、調節池底部にある壁に向かって落下します。これにより、落下時の振動や騒音の抑制、調節池本体へのダメージを軽減する効果があります。








２台の排水ポンプにより、55,000㎥の水を約12時間で排水可能

越流堰（せき）は、田楽橋を挟んで上下流に延び、全長約150mあります。集中豪雨等により目黒川の水位が上昇し、越流堰の高さを超えると調節池の中に流入する仕組みになっています。調節池に溜まった水は、目黒川の水位が低下した後に、調節池内に設置している排水ポンプで汲み上げて、目黒川に放流します。船入場調節池は令和7年度末までに計12回流入した実績があります。